



天皇皇后両陛下による記念植樹

第74回全国植樹祭岡山2024 が開催されました
令和6年5月26日 57年ぶりの岡山県開催となり
天皇皇后両陛下による手植え・お手播き、緑
化功労者への表彰等、記念アトラクションが
開催されました。

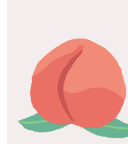
トピックスに関連してQRコードで該当ページにリンクしていますのでご参照ください。

★女性就労支援補助★

女性の働きやすい環境整備のモデル的事業の経費を補助します。

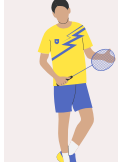
★県産品販売促進
キャンペーン★

県産品の特典付き・送料無料キャンペーン



★部活動地域移行★

文化・スポーツ部活動におけるガイドラインが策定されました。



★犯罪被害対策★

犯罪被害等で居住が困難となった方へ転居費を助成します。

★(第五期)エネルギー効率化・新事業展開等
による生産性向上支援事業補助金★

原材料費の高騰や人手不足など多くの課題に対し持続的な賃上げの取組やさらなる成長・発展を遂げるためにエネルギー効率の向上やデジタル技術の活用、新事業展開、事業再構築等の生産性向上に向けた意欲的な取組を行う県内中小企業者を支援する補助制度です。



岡山県議会事務局



★県立高等学校の再編整備について★

真庭高校、笠岡工業高校が再編整備基準の適用となり今後のアクションプラン策定に向けた協議が行われています。本市工業高校は地区内外で活躍する卒業生も多く、企業求人数だけでなく地域企業内定率も100%であり地場産業にとって担う位置づけは非常に高いと感じます。地域も含め最適かつ慎重な協議を進めてほしい。

岡山県議会インターネット中継



SAKAMOTO DATE

昭和49年 6月 岡山県笠岡市生まれ
笠岡市立城見小学校・金浦中学校・近畿大学附属福山高等学校・広島経済大学経済学部 卒業
卒業後は保険代理業を営み、防災士や陸上競技の指導者として活動中。
令和2年4月 笠岡市議会議員初当選 令和5年4月 岡山県議会議員初当選
令和5年度 文教委員会、防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会
令和6年度 産業労働警察委員会 副委員長、防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会 副委員長
〔役職〕
日本防災士会岡山県支部 監事/陸上競技協会 副会長 他多数



公式HP

討議資料

タウンプラス 料金別納

笠岡市にお住いの皆様へ

KAGAYAKI Vol.03
2024.8
坂本りょうへい 県政レポート

坂本りょうへい事務所

〒714-0088 岡山県笠岡市中央町34-14
TEL 0865 - 61 - 4117
FAX 0865 - 61 - 4430
✉ info@ryohei-sakamoto.com

県政の担いを頂戴し2年目の夏を迎えました。携わる案件も増え、あらためて県と市町村の連携強化を実感する毎日です。地方から日本を元気にしたい、地域に根付き県政から故郷を応援していく想いを胸にさらなる一步を踏み出して参ります。ここに5月臨時会・2月・6月定例会までの県政レポートをお届けさせていただきます。

岡山県議会議員 坂本亮平



小田川合流点付替え竣工記念



岡山東警察署視察



大雨災害対策確認



6月定例会質問

みんなの笑顔が創るふるさとのために

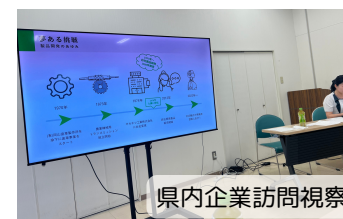
- 地方から日本を元気にしたい -



備前長船刀剣博物館視察



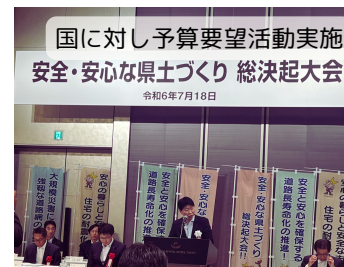
2月定例会質問



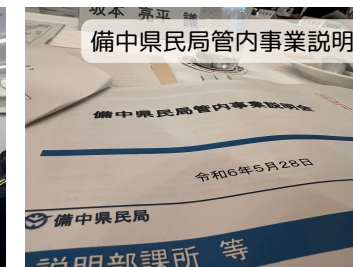
県内企業訪問視察



笠岡バイパス大雨災害場所立ち合い確認

国に対し予算要望活動実施
安全・安心な県土づくり 総決起大会
令和6年7月18日

第74回全国植樹祭岡山大会

農林水産省で農業農村整備
事業について研修備中県民局管内事業説明
令和6年5月28日
備中県民局 説明部課所等

次回県議会定例会日程(予定)

9月 5日：9月定例会開会	
9月10日：代表質問	9月25日：一般質問予備日
9月13日：一般質問	9月26日：特別委員会
9月18日：一般質問	10月 1日：常任委員会
9月19日：一般質問	10月 3日：議会運営委員会
9月20日：一般質問	10月 4日：9月定例会閉会

県議会傍聴をご希望の方は、県議会1階の傍聴受付で、住所と氏名を記入し傍聴券の交付を受けてから入場していただけます。本会議は午前10時から開かれますが、その10分前から受け付けており、定員は95人(先着順)です。



討議資料

5月臨時会・2月・6月定例会の概要

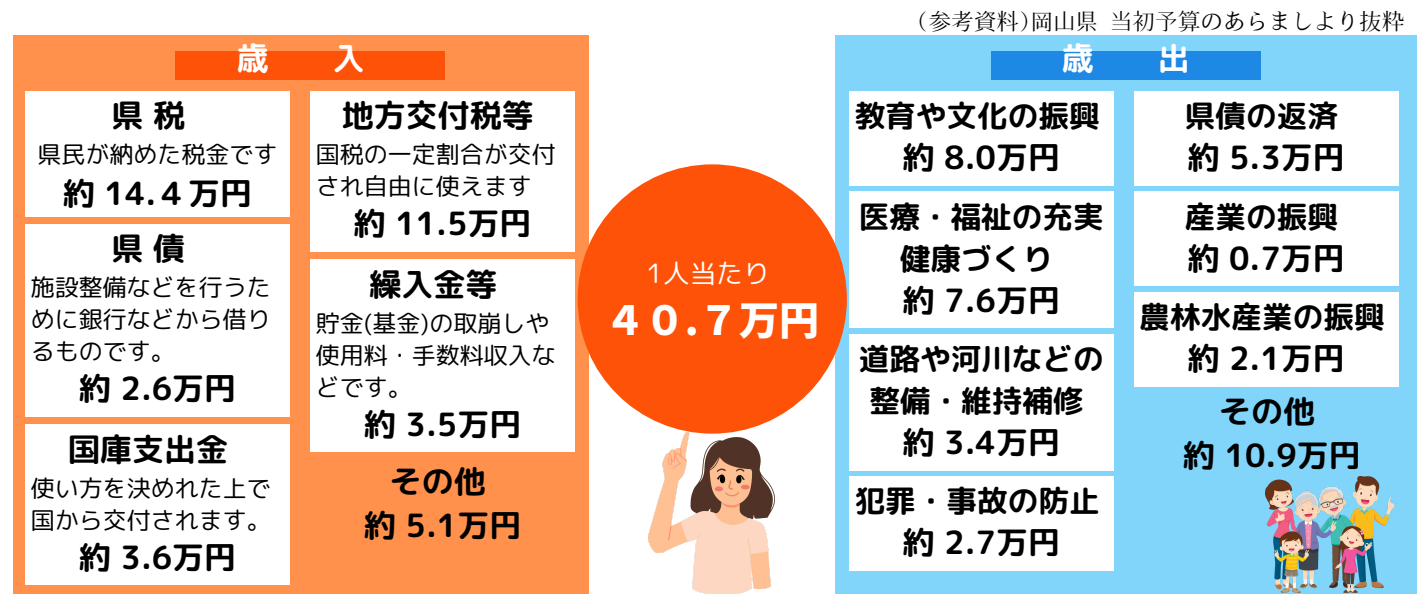
5月臨時会(会期 5/15)

5月臨時会が開催され正副議長選挙の結果、議長に久徳大輔議員（高梁市選挙区）、副議長に中塚周一議員（倉敷市・都窪郡選挙区）が選任されました。また、常任委員会及び特別委員会、議会運営委員会の委員構成が行われ監査委員と共に新体制がスタートしました。

2月定例会(会期 2/22-3/19)

一般会計当初予算として**7,505億5,100万円**、特別会計及び前年度の事業確定による減額と合わせて**7,936億3,500万円**が提案され発議案含む128議案が可決されました。平成30年豪雨の大規模河川改修や県庁舎耐震化工事の完了等もあり6年ぶりの減額予算でした。主な事業は少子化対策総合推進事業に4億4,000万円、学校の働き方改革の推進に3億8,900万円、産業用地開発総合支援事業で3億4,500万円や脱炭素社会の実現を目指した地球温暖化対策事業に21億4,200万円等があります。

岡山県の歳入歳出額を県民一人当たりの予算額として算出したデータが以下となります。



【参 考】令和6年一般会計の当初予算総額(7,505億5,100万円)を岡山県人口(約1 8 5 万人)で割ると、一人当たり約40.7万円の予算が使われているということになります。

6月定例会(会期 6/11-7/3)

当初予算編成後の情勢の変化に伴い、早急な対応が必要として一般会計補正予算**44億9,800万円**が追加提案され可決されました。主な内容は県立学校 I T 基盤整備事業費30億7,800万円、産業労働総合対策費11億4,900万円を計上し、施設整備費5,400万円を減額しています。これにより補正後の一般会計予算は歳入歳出それぞれ7,550億4,900万円となっています。

知事提案では「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」の今年度が行動計画の最終年度となることから新たなプランを策定する。県政の基本目標をはじめ現行プランの性格を維持しつつ、待ったなしの課題である少子化への対応等を踏まえながら策定したい。また今後も市町村や県民の皆様の御意見を幅広くお伺いしながら、検討を進めていくと発信されています。

【採択した陳情案件】

(陳情)「福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等の退職手当共済にかかる公費助成の継続」の件

【発議した事案】岡山県議会として関係各所へ提出をしています。

- 1.地方財政の充実・強化に関する意見書
- 2.パレスチナ自治区ガザ地区における人道状況の改善と平和の早期実現を求める決議
- 3.社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書



討議資料

【2月議会一般質問 県防災・県立高等学校の再編・辺地 抜粋】

【防災について：民間協定】

質問：坂本 能登半島地震では、国から要請を受けた（一社）全民救患者搬送協会が、物資支援だけでなく高齢者や入院患者など要救助者の搬送活動に尽力した。こうした実例を踏まえて有事の際の官民連携した包括的な民間事業者との災害協定を検討してはどうか？

危機管理監 災害時には消防機関のマンパワーが不足する事態も想定されるため、その役割を補完する民間事業者の活用は、災害関連死防止の観点からも大変有効である。今後、事業者の確保や方策について市町村や消防本部とも検討していく。

民間連携について継続して調整中

【県立高等学校の再編整備について：スケジュール】

質問：坂本 再編整備の対象となった場合に、こういったスケジュール感を持って検討に入るのか？

教 育 長 基準に該当する高校が生じた場合は、最新の中学卒業見込者数や各高校の生徒数、地元自治体や中学生のニーズを踏まえ当該年度中にアクションプランを策定する。

要望：坂本 再編整備事業は影響する学生や地域のことを一番に考え、生徒ファーストの気持ちを忘れず検討していただきたい。

【辺地について】

質問：坂本 笠岡市の島しょ部で活用してきた辺地債だが、規定である「5平方キロメートル以内の面積の中に50人以上の人口を有する」に該当しないケースもあり市の負担が増している。今後県独自の条件設定や国に対する辺地債条件緩和の働きかけなど県としてどう対応していくのかを尋ねる。

県民生活部長 辺地等の条件不利地域を有する市町村が、各種施策を着実に進められるように、必要な予算の確保や補助事業の要件緩和なども国に要望している。また、県としても集落機能の維持確保のため中山間地域等振興特別事業なども活用しながら様々なプログラムを考えたい。

【6月議会一般質問 放置竹林、日本語教育、観光誘客、デジタル人材派遣 他 抜粋】

【放置竹林の整備について】

質問：坂本 全国9番目に竹林を有する我が県においておかやま森づくり県民税等を活用し、放置竹林対策をしているが改善が見られない。森林資源の循環及び里山の公益的機能の確保のため、放置竹林の整備が必要と考える。また竹林整備からその竹を循環型の農業へと繋げれないか。

農林水産部長 荒廃した竹林を整備・保全し、里山が持つ公益的機能の回復を図るため、放置竹林の整備に向けた地域の取組支援をしていく。また竹パウダーなど堆肥の商品化事例もあることから先進的な取組等情報収集と提供に努めていく。

【日本語教育について】

質問：坂本 大和言葉から発し、わが国特有の言語である日本語だがSNSや動画からの一方的情報取得などから日本語の乱れを感じる。小中義務教育において根幹たる日本語の理解や言葉の大切さをどう考えるか。また、在留外国人のさらなる増加も考えられる中、地域でのトラブルを回避するためにも県内未整備の日本語教室地域を解消する必要があるが今後の対応を尋ねる。

教 育 長 先人達から受け継ぐ日本語は教養の礎であり、伝統的な文化を理解・継承し、創造・発展させるにもとても大切なものです。子ども達の発達段階に応じて日本語の理解を深めつつ、言葉を大切にする態度を養えるように指導していきたい。

県民生活部長 多文化共生の地域づくりの観点でも大切な事であり、日本語教室空白地解消に向け対応強化を図っていきます。

空白地の日本語教育体制強化が始まりました

【観光誘客について】

質問：坂本 本件の訪日観光客や総消費額など近隣県に比べても差がある。今後開催される大阪関西万博他に対して戦略的なプロモーションが必要だが知事の所見を聞きたい。

知 事 誘客や消費額アップにむけ強化する必要がある。朝と夜の時間帯コンテンツや岡山桃太郎空港の利用促進、広域周遊などの誘客に向けて取り組み戦略的な観光誘客を展開していく。

【市町村へのデジタル人材派遣について】

要望：坂本 市町村との連携をさらに深め、一枚岩にしていくのが県の役割と考える。今後も地域に寄り添った県政をお願いしたい。

討議資料